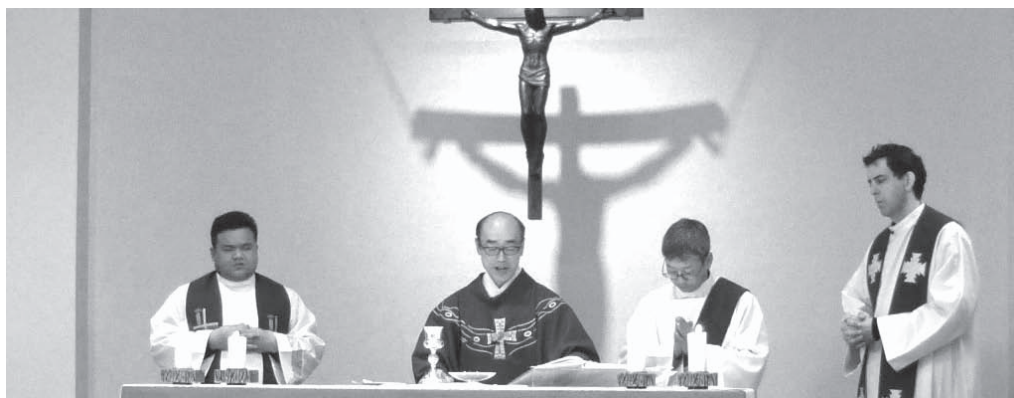




カトリック札幌司教区

# 札幌カリタス通信

July. 2018 No. 18



＝2018.3.11 宮古教会での復興祈願ミサ＝

## 「先進国で広がる子どもたちの格差」

東日本大震災の復興支援のボランティア活動を始めて7年が経過。復興の進捗度にも差が出ているように感じられる今日この頃である。

およそ2年前2016年4月に発表されたユニセフ報告書「子どもたちのための公平性」は、欧州連合（EU）または経済協力開発機構（OECD）に加盟する41カ国を、底辺に置かれた子どもたちが、「平均的」な子どもたちからどの程度取り残されているか、について順位付けしています。マスコミでも取り上げられていたので皆さんもご存知のことだと思いますが、この報告書によると、日本の子どもたちの幸福度の格差に関する順位は次の通りである。

- ・子どもの相対的所得に関する“底辺の格差”の順位は、41カ国中下から（格差が大きい方から）8番目で、所得分布の下から10%にあたる子どもの世帯所得は、中央値にあたる子どもたちの約40%。
- ・学習到達度における“底辺の格差”の順位では、37か国中下から11番目。  
ユニセフ・イノチェンティ研究所のサラ・クック所長は「報告書が明らかにしたのは、いずれの国においても、子どもの幸福度は、個人の置かれた状況や経済発展の水準によって必然的に決まるものではなく、政策の選択により決定付けられるものだという事です」と語っている。

朝日新聞によると2018年4月には2年前に比べて7倍超の2,286カ所の子ども食堂が開設されているとの事である。「子どもたちのための公平性」に関して、報告書が発表された後の2年間で何も変わらずというよりも、より格差がひどくなっているのではないだろうか。

## 目次

1. 東日本大震災復興支援の動きとこれからの支援の有り方 ..... ①～④
2. 札幌カリタス運営委員会の報告、援助金交付内容と交付団体の活動内容 ..... ④～⑥
3. カトリック福祉施設の集い、献金者名簿 ..... ⑦

## ■東日本大震災の復興支援の報告■

### ■移動カフェで仮設住宅の方々のお声を聴く「傾聴活動」を行ってきました

東日本大震災直後の2011年4月からの瓦礫の撤去作業などのボランティアから始まり、同年8月1日から移動カフェが始まりました。今までの間に、489人（一日ごとの換算人数で7,270人）の方々にボランティアとしてご協力を頂きました。ご協力に心から感謝申し上げます。

### ■宮古での活動が一区切りとなる今年の3.11は、宮古教会で追悼と復興祈願ミサが奉げられました

3.11の追悼と復興の祈願ミサは、毎年札幌カテドラル（北一条教会）で、活動報告とともに行ってきましたが、宮古での活動が一区切りとなる今年の3.11は、宮古教会で追悼・復活祈願ミサを行いました。

札幌からは、交替のボランティアの方々も到着して12人、盛岡からはバスを仕立てて30人余、東京、釜石、八戸からの方々、そして宮古の信徒を含めて77人が参加してのミサは、7年間で最も多くの人数だった。主司式は札幌教区サポートセンター担当司祭の上杉神父様、共同司式は地元のパウロ神父様、ウィリー神父様、そして札幌教区佐久間助祭(当時、3/21に司祭叙階)。歌声も、祈願の唱和も、大変美しく心強く聖堂に響きました。ミサの最中の14時46分、防災無線の呼び掛けと教会の鐘の音を合図に黙祷を捧げ一致して祈りました。



＝ミサに参加された皆様方＝

### ■仮設住宅での7年間最後の移動カフェ「さよならカフェ」を開催

2011年8月1日から2018年3月14日の間に、延べ1,747回の仮設住宅での移動カフェ(カリタスカフェ)が行われました。(2015年1月からは公営住宅の集会所でも開始)

2018年3月9日、10日、12日、13日の午前と午後8カ所の集会所・公民館で、宮古社協の送迎や告知のご協力を得て開催されました。

## ■宮古支援 2017年の主な動き

### 2018年3月

- ・いよいよ移動式のカリタスカフェは今月のさよならカフェで、7年間続いた活動も終了です。
- ・さよならカフェは予定を上回る参加者で盛況のうちに終えることができました。多くの方々から感謝の言葉を頂き、少しでも役に立つことができたことを嬉しく思いました。皆様へ感謝です。参加者の皆さんの送迎をはじめ、昼食の心遣いまでして下さった社会福祉協議会の皆さまにも感謝です。
- ・今年の3月11日は、札幌から12人、盛岡から30人、宮古信徒はじめ東京・釜石・八戸からの方々が77人参加して、宮古教会で追悼・復興祈願ミサを行いました。共同司式は、上杉神父・パウロ神父・ウィリー神父、佐久間助祭（3/21司祭叙階）が司式。

### 2018年2月

- ・2月は一週のみのカリタスカフェ開催となりました。
- ・三陸鉄道が摂待駅を出てすぐに車両故障で動かなくなり、代替バスでの宮古到着となりました。何とかカリタスカフェの活動に間に合いました。
- ・オリンピックが話題になり、北見のカーリング選手が可愛いと評判でした。
- ・山田町ひなたぼっこのカリタスカフェも大分認知され、訪れてくれる人数も増えてきました。

### 2018年1月

- ・3月の最後のカリタスカフェの開催内容（さよならカフェ）について社協と相談し、住民への周知や会場への送迎は社協が受け持って頂けることになりました。
- ・4月以降の活動の見通し（宮古教会でカフェ開催）も社協にお伝えし、憩う場の提供は喜ばれるのではないかとの意見でした。今後、さらに検討を進めることにしました。

### 2017年12月

- ・今年は降雪が早く、ボランティアの参加にも影響が出ました。
- ・帯広教会から送られてきたひざ掛けを配りました。とても喜ばれました。
- ・宮古社協主催の支援団体の話し合いに参加。公営住宅での支援の有り方について意見が出されました。様々な課題があるとの事でした。

### 2017年11月

- ・10回目となるアンサンブル奏楽（SORA）の東北支援演奏会を9カ所で開催し、今回も好評を博しました。
- ・はなわばし祭りに参加。佐原宿舎に保管していた炭は湿気で着火せず、急遽買いに走りました。祭りは晴れて10時開店時には行列ができ、ジンギスカンを焼き続け、250用意した器はなくなり、他のブースから手当てしました。祭りは、宮古教会に隣接する小百合幼稚園児の太鼓演奏を手始めに鹿子（シシ）踊り、楽器演奏、独奏など14の個人・団体が出演しました。岩泉高校生たちの「中野七頭舞」は圧巻でした。
- ・11月19日に高規格道路の三陸沿岸道路が宮古から山田町まで開通となり、アクセスが良くなり山田町へは20分程で行くことができました。

### 2017年10月

- ・10月一杯で、なかよし公園と児童相談所の仮設住宅でのカリタスカフェは終了。復興が進んでいることを喜ぶべきですが、寂しさも感じられ複雑な気持ちになりました。
- ・山田町では、30分しかいられないがコーヒーが飲みたくてと顔を出してくれたご夫婦

が訪れてくれました。皆さんの話だと、仮設周りの草刈りを一人でやって頂いているとの事でした。いつもきれいで感謝です。

#### 2017年9月

- ・教区神学生がボランティアに訪れ、子どもたちとよく遊び、子どもたちは大喜びでした。
- ・岩泉町の台風で被害を受けた田んぼにも、今年は無事に稲穂が実ったお話を伺い安どの気持ちでいっぱいでした。
- ・仮設住宅の集会所などが取り壊されることになり、自分たちはどこに集まれば良いのだろうかなど、復興とは別な不安の声が聞こえました。
- ・台風18号の影響で2日間活動休止となり、帯広からのボランティアの方も今回は取りやめになりました。

#### 2017年8月

- ・山田町ひなたぼっこは、従来の談話室とは異なり、社協職員さんが常駐です。ここでは、子どもたちが学校帰りに勉強や話し合いに活用されているそうです。
- ・閉鎖となる仮設住宅が多くみられるようになってきました。

#### 2017年7月

- ・岩泉町では、台風被害からの復興の先行きが見えないと不安の声が聞かれ、夏物衣料の不足など要望をお聞きしました。
- ・皆さんから寄せられた夏物衣料をカリタスカフェ開催時に皆さんにお配りしました。
- ・カリタス女子高生2名が2日間のボランティアに見え、よく働いてくださいました。感謝です。

#### 2017年6月

- ・岩泉町のボランティア窓口と協議し、じっくりお話を聞くために、原則、1日1カ所でのカリタスカフェ開催をお願いします
- ・宮古市、山田町、岩泉町でのカリタスカフェ開催が本格稼働となりました。

#### 2017年5月

- ・強風の影響で、JR八戸線が大幅に遅れ、三鉄も午後1時まで運休となり、開催に間に合わず月曜日のカリタスカフェは中止とさせて頂きました。
- ・岩泉町でのカリタスカフェを開始しました。最初は中野仮設での開催でした。

#### 2017年4月

- ・アンサンブルグループ奏楽（SORA）の春の演奏会が9カ所で開催される。好評をいただき再来を求められました。今回は、ピアノ・オーボエ・ファゴット・バイオリンにソプラノの組み合わせでした。
- ・4月から原則、一週おきに1か月に2回カリタスカフェを開催することになりました。

#### 2017年3月

- ・公営住宅でのカリタスカフェの開催がほとんどで、午前と午後に別会場で一日2回開催
- ・支援団体会合への参加団体は8団体となり少なくなってきましたが、イベント開催を続けていく上での問題点や住民の自主運営とのバランスの問題など意見交換された。

#### 2017年2月

- ・午前と午後に1日2カ所訪問し、移動式カリタスカフェを開催
- ・公営住宅でのカリタスカフェの開催が多くなりました。
- ・山田町社会福祉協議会と、移動式カリタスカフェ開催を検討する

- ・同様に岩泉町社会福祉協議会と、台風被害者への移動式カリタスカフェ開催を検討する。また、カリタスジャパンからの暖房器具支援の仲介に感謝の言葉を頂く。カリタスジャパンの支援に感謝です。

## 2017年1月

- ・1月8日から仮設住宅と復興公営住宅の二通りの移動式カリタスカフェを開催
- ・到着前に会場を温めておいて頂き感謝です。

## ■教区サポートセンターへの献金 2017年度収支報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

科 目	2017年3月末累計	2018年3月末累計	備 考
支援募金	66,197,752	67,979,844	今までの累計額
寄付金	4,578,804	4,674,142	フリーマーケットやボランティア食費献金
受取利息	16,093	16,216	
収入の部計	70,789,649	72,670,202	
ボランティア活動費	22,601,705	24,739,823	交通費、保険、管理費など
移動カフェ運営費	1,815,498	2,172,156	
支援物資購入費	11,776,904	11,838,128	毛布、暖房器、食料、断熱材、X'mas プレゼントなど
活動助成費	6,228,773	7,372,358	NGO団体、奏楽コンサート、仮設自治会など
後方支援関係	6,534,699	6,554,589	宮古宿舎、ニュースレターなど
支出の部計	48,957,579	52,677,024	
繰越金	21,832,070	19,993,178	

## ■宮古支援 今後の活動

宮古市社会福祉協議会の意向もあり、宮古市内の仮設住宅等での移動式カリタスカフェは、3月のさよならカフェで終了となりました。これまでの皆さま方のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

5月からは、宮古教会を会場にして、第3水曜日にカリタスカフェを開催する予定です。公営住宅の方々等の交わりの場となることを願っています。これからも、皆様から頂いた献金をもとに開催規模は縮小しますが引き続き傾聴活動を続けていきます。

## ■札幌カリタス運営委員会の報告

### 1. 2016年度と2017年度の活動報告

2011年4月11日から東日本大震災被災地である宮古市へのボランティア派遣を続けてきましたが、宮古市の考えもあり2018年3月をもって宮古市内の移動式カリタスカフェは一区切りとなりました。東日本大震災支援活動のための募金は3月をもって終了しましたが、今までに皆様から献金頂いた資金をもとに一か月に1週程度の活動は今後も継続してまいります。今までの皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

また、北海道内で福祉活動を行っている諸団体への資金援助も従前通り行いました。

## 2. 2016年度一般会計決算報告

2016年4月1日～2017年3月31日（単位：円）

収入の部			支出の部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
寄 付 金	1,800,000	2,180,444	諸 団 体 援 助 金	1,110,000	1,110,000
利 息	1,000	928	広 報 費	100,000	125,928
			行 事 費	100,000	24,423
			旅 費 交 通 費	10,000	0
			事 務 経 費	70,000	71,514
			予 備 費	100,000	0
計	1,801,000	2,181,372	計	1,490,000	1,331,865
前 年 度 繰 越 金	2,559,709	2,559,709	次 年 度 繰 越 金	2,870,709	3,409,216
合 計	4,360,709	4,741,081	合 計	4,360,709	4,741,081

※行事費は、福祉施設の集いの開催費用

## 3. 2017年度一般会計決算報告

2017年4月1日～2018年3月31日（単位：円）

収入の部			支出の部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
寄 付 金	1,700,000	6,752,989	諸 団 体 援 助 金	1,170,000	1,170,000
利 息	1,000	374	広 報 費	100,000	0
			行 事 費	100,000	43,570
			旅 費 交 通 費	10,000	0
			事 務 経 費	70,000	40,528
			予 備 費	100,000	0
			特 別 預 金 組 入	0	5,000,000
計	1,701,000	6,753,363	計	1,550,000	6,254,098
前 年 度 繰 越 金	3,409,216	3,409,216	次 年 度 繰 越 金	3,560,216	3,908,481
合 計	5,110,216	10,162,579	合 計	5,110,216	10,162,579

※500万円の特別預金への組み入れは、ご遺言によりカリタスの福祉活動に役立ててほしいとの意向で寄せられました。

※広報費は、札幌カリタス通信の発行を従前の7月と発行時期をずらさせていただいたため、今年度の支出はございません。

## 4. 2018年度活動計画

2018年4月以降は宮古教会をベースとしたカフェの開催や、宮古市近隣の山田町や岩泉町での移動形式のカリタスカフェを継続して行っていきたくと考えています。

また、北海道内で福祉活動を行っている諸団体への資金援助、「カトリック福祉施設の集い」を計画し、札幌カリタス通信の発行、札幌カリタスの日献金も従前通り行ってまいります。運営委員会を年2回、援助審査会を年1回開催して札幌カリタスを運営していきます。

## 5. 2018年度一般会計予算

2018年4月1日～2019年3月31日（単位：円）

収入の部			支出の部		
科 目	2018年度	2017年度	科 目	2018年度	2017年度
寄 付 金	1,700,000	1,700,000	諸 団 体 援 助 金	1,300,000	1,170,000
利 息	1,000	1,000	広 報 費	200,000	100,000
			行 事 費	550,000	100,000
			旅 費 交 通 費	10,000	10,000
			事 務 経 費	70,000	70,000
			予 備 費	100,000	100,000
計	1,701,000	1,701,000	計	2,230,000	1,550,000
前 年 度 繰 越 金	3,908,481	3,409,216	次 年 度 繰 越 金	3,379,481	3,560,216
合 計	5,609,481	5,110,216	合 計	5,609,481	5,110,216

キリストの愛を証ししその愛を告げ知らせるために、皆様のご協力を頂きながら札幌カリタスの活動は行われています。これからも、神様のみ心を信じてキリストの愛を証しする活動を行っていきたいと思います。

2016年度と2017年度活動報告と決算報告、2018年度活動計画、2017年度援助金交付内容を報告させていただきました。今後とも、皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしく願います。主の恵みが皆さんの上にありますように。

## 6. 2017年度の援助金交付額

①NPO法人札幌マック	80,000円
②NPO法人札幌マック女性作業所	190,000円
③NPO法人北海道ダルク	300,000円
④NPO法人とちかダルク	300,000円
⑤NPO法人寧楽共働学舎	300,000円
計	1,170,000円

## 7. 2017年度の援助金交付内容

- ①NPO法人札幌マック・・・アルコール・薬物依存者の回復と社会復帰のための自立支援を行っています。  
男性作業所には、グループホームの備品・寝具の購入費用を援助しました。
- ②NPO法人札幌マック女性作業所・・・アルコール・薬物依存者の回復と社会復帰のための自立支援を行っています。  
女性作業所には、入居施設のトイレ改修工事費用の援助を行いました。
- ③NPO法人北海道ダルク・・・薬物依存者の回復を支援する専門のリハビリを行っています。薬物依存症の現状と回復のメッセージを伝え、市民に広めるためのフォーラムの開催費用を援助しました。
- ④NPO法人とちかダルク・・・薬物依存者の回復を支援する専門のリハビリを行っています。十勝地区での薬物乱用防止セミナー及び研修会開催費用の援助を行いました。
- ⑤NPO法人寧楽共働学舎・・・心身に様々な障害を持つ人や、そうした人々と共に生きようとする人たちが、共に自立するための共同生活の場  
自労自活のための大型ショベルが故障したため、その修理費用へ援助しました。

◇2017年度カトリック福祉施設の集いが藤女子大学会議室で開催される

今年は、教育・福祉の分野で長年活動している殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会の日本（北海道）で活動を始める経緯や考えを聞いたり、修道生活の一部を体験する研修会を札幌マリア院を会場に開催しようと企画しましたが、開催直前に修道院のシスターがお亡くなりになり、隣接の藤女子大S r.永田淑子理事長のご厚意により、学園会議室を拝借し開催しました。

戦禍のため来道を一度延期した当時の状況や、日本での宣教に対するシスター方の思いなどを聞き、修道生活の一部を体験することは出来ませんでした。現在の私たちにとって参考となるお考えを聞くことができました。

**札幌カリタス献金者名簿**

(2016.4~2017.3) 敬称略

◇教会

岩見沢、恵庭、江別、大麻、北1条、北11条、北11条マリア会、北26条、北広島、倶知安、小野幌、新田、小樽、千歳、月寒、手稲、花川、真駒内、真駒内カフェサマリア、円山、円山シャロームの会、山鼻、旭川5条、旭川6条、大町、枝幸、神居、士別、砂川、滝川、名寄、美唄、富良野、留萌、稚内、当別、宮前町、元町、八雲、湯川、釧路、柏林台、苫小牧、静内、伊達、登別、東室蘭、室蘭、北見地区、北見、美幌

◇修道会、在俗会

殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会、マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院、マリアの宣教者フランシスコ修道院北広島修道院、聖ベネディクト女子修道院、十勝カルメル会、伊達カルメル会、トラピスト修道院、トラピスト修道院、聖心会、シャルトル聖パウロ修道女会山の手修道院、マリア会光星修道院、聖ヴィアンネ会

◇団体、個人、外

函館カリタスの園旭ヶ岡の家、山崎清司、住谷郁子、クドウナオコ、工藤貞子、佐藤久美子

**札幌カリタス献金者名簿**

(2017.4~2018.3) 敬称略

◇教会

岩見沢、恵庭、江別、大麻、北1条、北11条、北11条マリア会、北26条、北広島、倶知安、小野幌、新田、小樽、千歳、月寒、手稲、花川、真駒内、真駒内カフェサマリア、円山、山鼻、旭川5条、旭川6条、大町、枝幸、神居、砂川、滝川、名寄、美唄、富良野、留萌、稚内、当別、宮前町、元町、八雲、湯川、釧路、中標津、苫小牧、静内、伊達、伊達、女性部、登別、室蘭、苫小牧地区信徒大会、遠軽、北見

◇修道会、在俗会

殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会、マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院、聖ベネディクト女子修道院、十勝カルメル会、伊達カルメル会、トラピスト修道院、トラピスト修道院、聖心会、シャルトル聖パウロ修道女会山の手修道院、マリア会光星修道院、聖ヴィアンネ会

◇団体、個人、外

函館カリタスの園旭ヶ岡の家、大友ヤエ、佐藤久美子

■ 札幌カリタスへの献金 振込口座 ■

郵便振替口座番号 02740-8-35329

口座名 札幌カリタス

宗教学法人 カトリック札幌司教区

**札幌カリタス**

〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館

Tel 011-241-2785 Fax 011-221-3668

E-mail : officecsd@csd.or.jp http : //www.csd.or.jp/charitas/